

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 国保・年金課	担当課長名	加藤 正浩
(※)第2期実施計画の事業名	健康づくりの支援(保健事業)	財務会計上の事業名	保健事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2081 1	財務会計上の短縮番号	8455
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第8節みんなで支える医療保険	
	項目	項目1健康づくりの支援	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	疾病の発症、重症化を予防する。
事業の対象(誰を、何を)	国民健康保険被保険者
事業の手段・方法(どのように)	人間ドック(平成30年度～)、脳ドックの受診費用や体育施設利用料を補助する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 8 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	国民健康保険法第82条

2 事業費等

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)	H30/H29	
事業費(千円)	9,030	8,848	9,556	22,237	108.0%	
主な内訳	補助金	2,134	1,872	2,348	7,122	125.4%
	電算委託料	2,318	2,318	2,318	2,340	100.0%
	通信運搬費	3,786	3,673	3,690	4,755	100.5%
人件費(人・千円)	0.23 1,702	0.23 1,748	0.23 1,794	0.23 1,794	100.0%	
内訳	正職員	0.23 1,702	0.23 1,748	0.23 1,794	0.23 1,794	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	0	0	0	0	-	
支出合計 A	10,732	10,596	11,350	24,031	107.1%	
財源	国・府支出金	2,512	2,246	9,556	22,237	425.5%
	地方債					-
	その他()	6,517	6,602			0.0%
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	1,703	1,748	1,794	1,794	102.6%	
一般財源比率 C÷A	15.9%	16.5%	15.8%	7.5%	95.8%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	目標値(H30)	元年度(予定)	
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	人間ドック助成件数	件	—	—	62	100	—	
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	脳ドック助成件数	件	77	67	67	90	—	
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	体育施設利用補助件数	件	1147	877	422	900	—	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				利用者ニーズや被保険者数の減少により、件数での比較が難しいため。					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)			成果の達成状況は判断できないものの、疾病の発症、重症化の予防には有効的な事業と考えるため、一層の周知に努めていく。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	脳ドック助成の補助金額を5万円から3万円に改めた。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	人間ドック受診費用の助成制度を開始した。	
現在抱える課題と対策	課題	糖尿病性腎症重症化予防事業が未実施
	対策	令和元年度より委託事業として実施予定。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	平成31年度より糖尿病性腎症重症化予防事業を開始する予定であり、医療費削減の一助となることが期待できる。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 国保・年金課		担当課長名	加藤 正浩
(※)第2期実施計画の事業名	健康づくりの支援(特定健康診査等事業)		財務会計上の事業名	特定健康診査等事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2081	1	財務会計上の短縮番号	8485
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち		
	節	第8節みんなが支える医療保険		
	項目	項目1健康づくりの支援		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	生活習慣病を主とした疾病の発症、重症化を予防する。
事業の対象(誰を、何を)	40歳以上の国民健康保険被保険者
事業の手段・方法(どのように)	特定健康診査・特定保健指導を実施する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 20 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	高齢者の医療の確保に関する法律第20条、国民健康保険法第82条

2 事業費等

区分		28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)	H30/H29
事業費(千円)		67,559	64,264	59,776	75,075	93.0%
主な内訳	委託料	61,225	57,537	56,305	69,935	97.9%
	手数料	2,048	1,920	1,963	2,478	102.2%
	印刷製本費	214	281	205	571	73.0%
人件費(人・千円)		0.26 1,924	0.26 1,976	0.26 2,028	0.26 2,028	100.0%
内訳	正職員	0.26 1,924	0.26 1,976	0.26 2,028	0.26 2,028	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時の任用職員		0	0	0	0	-
支出合計 A		69,483	66,240	61,804	77,103	93.3%
財源	国・府支出金	35,405	34,545	61,804	77,103	178.9%
	地方債					-
	その他()	32,154	29,719			0.0%
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C		1,924	1,976	0	0	0.0%
一般財源比率 C÷A		2.8%	3.0%			-
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他(直営困難)
上記の内容	特定健康診査・特定保健指導は医師、看護師、保健師等でなければ実施できないため、医師会に委託。
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	特定保健指導については対象者のデータ抽出から参加者募集、保健指導の実施までを一括して事業者へ委託することが可能。
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他()
上記の内容	事務簡略化は期待できるが、医師会に委託している部分を事業者委託にするための協議が必要。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	目標値(H30)	元年度(予定)
				指標	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	特定健康診査受診率	%	43
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	特定保健指導実施率	%	5	5	算定中	10	14
値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	受診勧奨送付件数	件	8980	8960	7326	9000	7500
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				特定健康診査の受診率は府内の他市町村よりかなり高いが、横ばい状態で目標に達していない。特定保健指導実施率は極めて低い。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)				特定保健指導の内容の見直しと対象者への働きかけが必要。事業費については、そのほとんどを占める委託料の単価が府内統一であるため、削減は困難。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容		過去3年間に1度も受診していない人への受診勧奨通知を送付。28年度からは市立池田病院でも特定保健指導を実施。29年度からは特定保健指導のプログラムの一部をトクホスクールとして開催。
令和元年度の取組(平成30年度比)		<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容		特定保健指導実施対象者への案内通知をイラストを入れカラー印刷し内容を刷新。また、医療機関あてに保健指導対象者のお知らせを送付。
現在抱える課題と対策	課題	特定保健指導の利用率の低迷
	対策	特定保健指導の実施方法や実施機関など見直しが必要。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針		<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由		特定保健指導の実施率向上のため、実施方法や内容について検討が必要。

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 国保・年金課	担当課長名	加藤 正浩
(※)第2期実施計画の事業名	医療費適正化の推進	財務会計上の事業名	一般事務事業 (レセプト点検業務に限る)
(※)第2期実施計画の 分類番号/事業番号	2082 1	財務会計上の短縮番号	8320
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第8節みんなで支える医療保険	
	項目	項目2医療費適正化の推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	不適切な請求や過誤請求を発生し、医療費の適正化を図る。
事業の対象 (誰を、何を)	国民健康保険の被保険者
事業の手段・方法 (どのように)	レセプト点検の充実
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	元年度 (予算)	H30/H29	
事業費(千円)	1,190	1,123	1,150	1,364	102.4%	
主な内訳	レセプト点検委託料	1,190	1,123	1,150	1,364	102.4%
						-
人件費(人・千円)	0.75 5,550	0.75 5,700	0.75 5,850	0.75 5,850	100.0%	
内訳	正職員	0.75 5,550	0.75 5,700	0.75 5,850	0.75 5,850	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	0	0	0	0	-	
支出合計 A	6,740	6,823	7,000	7,214	102.6%	
財源	国・府支出金				-	
	地方債				-	
	その他()				-	
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	6,740	6,823	7,000	7,214	102.6%	
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (専門性を要するため)
上記の内容	レセプト及び柔道整復療養費支給申請書の内容点検は、専門知識が必要なため委託。資格点検については職員が実施。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	資格点検業務は、他の保険給付業務と関連があり、常時連携して業務を行う必要があることから、委託することによりかえって事務が複雑化する可能性があるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	レセプト全件点検	件	381,612	361,854	344,344	360,000	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	点検による1人当たり財政効果額	円	1,764	2,254	算定中	2,500	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				実施計画の目標であるレセプトの全件点検は実施しているが、財政効果は大阪府の掲げる水準を下回っている。				
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な 内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である (改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない (抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に 実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である (改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない (抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移に についても言及して記入)	点検委託料の単価は入札により下がっており、これ以上の事業費の削減は困難。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における 事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組 (平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	レセプトの内容点検は民間事業者に、柔道整復療養費支給申請書の内容点検は大阪府国保連合会に委託。資格点検については職員が実施。	
現在抱える課題 と その対策	課 題	点検効果が十分とは言えない。
	対 策	平成33年度に事業者を選定する際に、選定方法を検討。(現状は、単価の単純な見積り合わせ)
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	医療費適正化のため、レセプト及び柔道整復療養費支給申請書の点検は重要であるが、効果がより大きくなるよう、事業者の選定について検討が必要。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 国保・年金課		担当課長名	加藤 正浩	
(※)第2期実施計画の事業名	国民健康保険賦課徴収事業		財務会計上の事業名	賦課徴収事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2083	1	財務会計上の短縮番号	8340	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第8節みんなを支える医療保険			
	項目	項目3保険料の収納率向上			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	国民健康保険料の収納率の向上
事業の対象 (誰を、何を)	国民健康保険の被保険者
事業の手段・方法 (どのように)	口座振替の推進、収納対策の強化
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	国民健康保険法第76条

2 事業費等

区分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		1,956		2,035		1,968		2,235		96.7%
主な内訳		1,953		2,026		1,958		2,219		96.6%
		3		9		10		16		111.1%
										-
人件費(人・千円)		5.95	30,830	6.95	39,620	6.95	35,810	6.95	36,210	100.0%
内訳	正職員	2.95	21,830	3.95	30,020	2.95	23,010	2.95	23,010	74.7%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)	3.00	9,000	3.00	9,600	4.00	12,800	4.00	13,200	133.3%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		32,786		41,655		37,778		38,445		90.7%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C		32,786		41,655		37,778		38,445	90.7%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容		受益者負担を求める事業でないため								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	保険料賦課に関する窓口受付業務は委託済。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	徴収業務を直接行うべき業務であるため

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値	元年度
				(実績)	(実績)	(実績)	(H30)	(予定)
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	現年分保険料収納率	%	87.80	88.52	92.40	89.00	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	口座振替世帯割合	%	27.22	26.80	25.68	28.00	28.00
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				口座振替世帯は、減少の傾向であるが、保険料収納率は年々向上している。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	口座振替世帯の増加のための効果的な取組みができていない						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 25 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	平成25年度から滞納対策業務を中心とする国保料等収納業務職員(任期付短時間勤務職員)を3名採用し、平成30年度に1名増員。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	平成30年度から上記の国保料等収納業務職員を1名増員し、滞納対策の強化を図っている。	
現在抱える課題とその対策	課 題	保険料収納率の更なる向上(全国平均を下回っている)。口座振替普及率の低迷。
	対 策	徴収アドバイザーの派遣や研修会の継続的な実施(複数自治体による共同実施等)により、収納ノウハウの維持・向上を図る。(人事異動等によるノウハウ低下防止のため)
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	平成30年度の国保広域化後も、保険料徴収業務は市町村の業務となり、国保財政の健全化のために、現在より更に重要な業務となる。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 保険医療課	担当課長名	奥村 芳弘
(※)第2期実施計画の事業名		財務会計上の事業名	保険料徴収事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号		財務会計上の短縮番号	10035
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第8節みんなを支える医療保険	
	項目	項目3保険料の収率向上	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計 (後期高齢者医療事業) <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	後期高齢者医療保険料の収率向上
事業の対象 (誰を、何を)	75歳以上の高齢者(65歳から74歳までの一定の障がいがあると認められた者を含む)
事業の手段・方法 (どのように)	普通徴収対象者への口座振替の推進及び保険料滞納者への納付相談等収率対策の強化
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 20 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	高齢者の医療の確保に関する法律

2 事業費等

区 分		28 年度 (決算)		29 年度 (決算)		30 年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		92		94		117		779		124.5%
主な内訳	手数料	92		94		117		779		124.5%
										-
人件費(人・千円)		1.80	10,280	1.90	11,360	1.90	11,650	1.90	11,650	100.0%
内訳	正職員	1.10	8,140	1.20	9,120	1.20	9,360	1.20	9,360	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0.50	1,800	0.50	1,900	0.50	1,950	0.50	1,950	100.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.20	340	0.20	340	0.20	340	0.20	340	100.0%
支出合計 A		10,372		11,454		11,767		12,429		102.7%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	10,372		11,454		11,767		12,429		102.7%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 1 実施済(平成 30 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容		大阪府後期高齢者医療広域連合において保険料の均等割額及び所得割率の見直し(2年ごと)を実施。								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	平成26年6月から特別会計の窓口業務(納付書再交付、口座振替依頼書の届出受付、納付方法変更申出書の受付、葬祭費・高額療養費などの給付申請書の受付など)を委託し、事務の効率化を図っている。
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	未納を呼びかけるコールセンターや保険料徴収業務
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (収率率の向上と負担の公平性)
上記の内容	75歳の誕生日から後期高齢者医療へ移行するため、これまで口座振替であった方は75歳以降も口座振替になっている認識があり、未納が発生しやすいため、初期対応により滞納者を作らない対応が望まれる。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (実績)	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	普通徴収対象者	人	4,070
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	口座振替率	%	56.2	58.6	57.2	—	—
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	保険料収率	%	99.39	99.46	99.69	—	99.70
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	新規口座振替件数	件	584	609	598	—	600
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		保険料収率が向上しているため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となったか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由(目標値や事業費の推移についても言及して記入)		保険料収率の向上と、保険料負担の公平性の確保のため、電話催告を行うとともに、納付相談に応じない悪質な滞納者については、債権回収センターとの連携により滞納保険料の徴収に取り組んでいく。また、当課で資産調査を行っているが、差押まで出来ていないので、今後の課題として差押も視野に入れて対応できればと考えている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 30 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	平成31年1月からコンビニ納付を導入した。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	コンビニ納付の導入が1年間通して行われるため、手数料が増加するとともに、平成31年度(令和元年度)の保険料から未納については延滞金が増加することになり、保険料収率を強化する。	
現在抱える課題とその対策	課 題	滞納者対策
	対 策	分納者への資産調査を必ず実施するとともに、資産が見つかったときは分納取り消しなど、滞納者との折衝を行い、早期に滞納額を納めていただくよう指導する。また、債権回収センターとの連携により差押も実施し、収率率の向上に努めていく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	後期高齢者医療広域連合が保険事業として安定的に運営していくためには、保険料収率率の向上と、負担の公平性の確保が必要である。そのため債権回収センターと連携し、滞納者に対する保険料の収納を強化することが必要だと考えている。	